

団体名	岡山県刻字協会	代表者	会長 吉崎 努	記載者	高田 佳奈
所在地(市区町村名のみ)	岡山市北区				
活動目的	岡山ではまだまだ一般に知られていない書道の一分野「刻字」の展覧会を実施することで刻字を広く周知し、県内における刻字文化の振興と発展を図る。				
団体の紹介	平成22年に岡山市で開催された「第25回国民文化祭・おかやま2010～美術展『書』」への刻字作品の出品を契機に、県内では余り馴染みのなかった刻字文化を根付かせようと、奈良県在住で日本刻字協会理事、毎日書道展審査会員の吉崎努を講師に迎え、平成21年より開催した刻字ワークショップの受講者が母体となって発足。毎月2回(第1・3水曜日)講師の指導を仰ぎながら、刻字の基礎となる古代文字(主に小篆)の成り立ちを学び、錬成会を行うなど研鑽を積んで、初夏の毎日書道展や冬季の日本刻字協会展に向けた作品制作に取り組んでいる。また、毎年11月頃には日頃の成果発表の場として岡山県刻字協会展を開催している。				
助成を受けての活動内容	<p>日時:平成25年11月18日(火)～11月24日(日) 9:00～17:00(最終日16:00まで)</p> <p>場所:岡山県天神山文化プラザ第1展示室(大室)</p> <p>内容:岡山県刻字協会会員の作品 59点、大阪春日会会員の作品 20点、九州千歳会会員の作品 12点の計91点を展示。大阪、九州で活動する刻字団体との交流を深めるとともに、西日本最大級の刻字展となった。</p> <p>※展示作品については、別添作品集参照。</p> <p>会期中11月19日(火)には当協会会長で毎日書道展審査会員、日本刻字協会理事の吉崎 努による刻字の制作実演が行われ、マスコミ等多くの関心を集めた。</p> <p>また、20日(水)には刻字体験教室を開催し、28名の参加者がハガキサイズの作品に挑戦した(約2時間程度で完成)。</p> <p>※制作実演風景、体験教室の様子については別添写真参照。</p> <p>来場者数:約700名</p>				
助成を受けての成果	<p>今回のように岡山・大阪・九州で活動する刻字団体が、公募展以外で一同に会して行う刻字の展覧会は他に例がなく、西日本最大級の刻字展を開催できたことは非常に大きい成果である。</p> <p>天神山文化プラザという会場の特性から、書道分野のみならず、写真、陶芸、造形、染織、版画、彫刻など様々な文化芸術分野の第一線で活躍する諸氏に観覧いただいたことは非常に意義深い。</p>				
今後の活動の課題点	<p>刻字協会会員も他の文化芸術分野と同様に高齢化が進んでいる実情があり、新規会員の確保は喫緊の課題である。しかしながら、現在の会員がより深く刻字を理解し、小篆(篆書的一种)を学んで刻字の道に邁進することが、何よりも重要である。国文祭を契機に根付いた刻字の息吹を絶やさぬよう、より一層の周知と浸透に取り組み、岡山県の文化の振興と発展に寄与したいと考えている。</p>				
問い合わせ連絡先もしくは、ホームページアドレス(加入希望の方などへのお知らせなど)	<p>会員随時募集中。</p> <p>連絡先:岡山県刻字協会事務局((公社)岡山県文化連盟内) TEL:086-234-2626</p>				

※ このページは、財団ホームページや印刷物などで公表される資料として使用される場合があります。A4用紙1枚程度におまとめください。(他の報告書との重複可)
写真・チラシ・パンフレット(PDFもしくは、画像)等を添付していただいても結構です。

第三回



岡山県刻字協会展作品集



「馬楽道」(吉崎努作)

会場

岡山県天神山文化プラザ 第1展示室

会期

2013年11月19日(火)ー24日(日)
9時ー17時(24日は16時まで)

- 体験教室 11月20日(水)9時半ー15時半(随時)
- 制作実演 11月19日(火)13時ー14時半
- 協賛出品 九州千歳会(会長・毎日書道展審査委員:三宅梵ほか11名が出品)
春日会[大阪](代表幹事・毎日書道展会員:末弘荷城ほか19名が出品)

主催 岡山県刻字協会
(会長・毎日書道展審査委員:吉崎努、副会長:曾田章楷、事務局長:山川一公)

共催 公益社団法人岡山県文化連盟
助成 公益財団法人マルセンスポーツ・文化振興財団
後援 岡山県・岡山市・岡山県書道連盟・山陽新聞社・毎日新聞岡山支局
NHK岡山放送局・RSK山陽放送・OHK岡山放送・TSCテレビせとうち
Oniビジョン〈第11回おかやま県民文化祭参加事業〉